

2. 脳卒中センター

脳卒中は「時間との勝負」です

脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりする病気です。

- 手足が動かない
- ろれつが回らない
- 急に言葉が出ない
- 顔がゆがむ
- 片目が見えない
- 激しい頭痛

このような症状があれば、一刻も早い診断と治療が必要です。

当院では 24 時間 365 日、救急受け入れ体制を整え、

脳卒中の急性期治療から再発予防の手術、リハビリテーションまで、一貫して対応しています。

脳神経外科医と脳血管内治療専門医が連携し、その患者さんに最も適した治療を選択します。

当院の強み

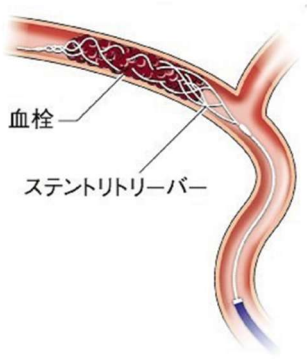
脳梗塞

発症早期であれば

- 血栓溶解療法 (tPA)
- カテーテルによる血栓回収術

まで迅速に対応します。

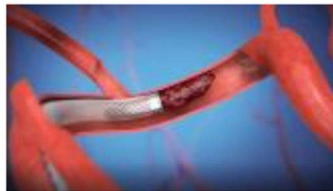
血栓回収療法



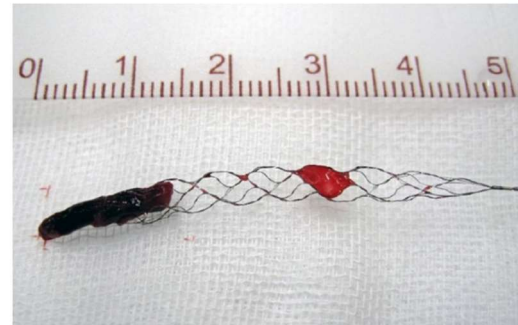
治療前



治療後



吸引カテーテル



脳出血

出血部位や重症度を迅速に評価し、

- 保存的治療
- 顕微鏡血腫除去術
- 内視鏡血腫除去術
- 水頭症に対するドレナージ

など最適な治療を行います。

くも膜下出血

破裂脳動脈瘤に対し、

- 開頭クリッピング術
- コイル塞栓術

の双方に対応しています。

病変の形や患者さんの状態を総合的に判断し、最善の治療法をご提案します。

予防も大切です

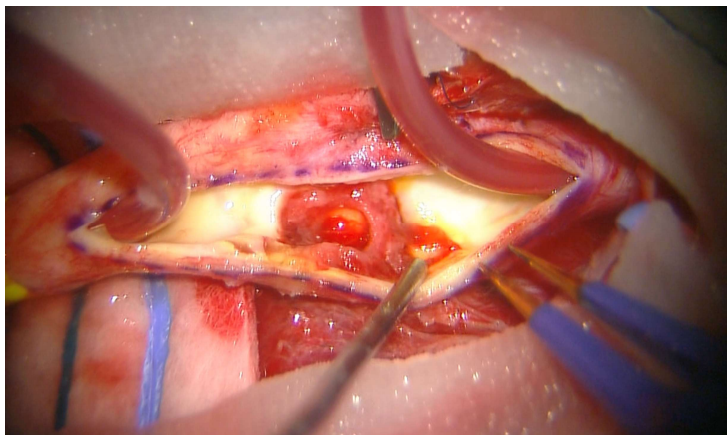
脳卒中は再発予防が非常に重要です。

当院では

- 高血圧
- 糖尿病
- 高脂血症
- 心房細動
- 頸動脈狭窄

などの危険因子を評価し、再発予防にも力を入れています。

脳梗塞の予防のために、頸動脈狭窄には内膜剥離術(CEA)や頸動脈ステント留置術(CAS)、脳血流不足に対しては脳血管バイパス術にも対応しています。患者さんの病態に応じて最適な治療法をご提案します。



頸動脈内膜剥離術



脳血管バイパス手術

急性期リハビリテーション

脳卒中の治療は、命を救うだけでなく、**失われた機能をできるだけ回復させ、日常生活へ戻ることも重要です。**

当院では、医師・看護師・リハビリテーションスタッフが連携し、急性期から早期リハビリテーションを開始します。患者さん一人ひとりの状態に応じたリハビリを行い、回復と社会復帰を支援します。

継続的なリハビリテーションが必要な方へは、近隣のリハビリテーション専門病院をご紹介します。急性期から回復期まで切れ目のない医療を提供できるよう、地域の医療機関とも連携しています。



リハビリ症例カンファレンス

このような症状はありませんか？

- ☐ 手足に力が入らない
- ☐ ろれつが回らない
- ☐ 言葉が出ない
- ☐ 顔がゆがむ
- ☐ 急に片目が見えなくなった
- ☐ 視野の半分が欠ける
- ☐ 激しい頭痛
- ☐ 意識が悪い
- ☐ ふらついて歩けない
- ☐ 物が二重に見える

→ 一つでも当てはまる場合は、すぐに受診してください。

よくある質問

救急車を呼ぶべきですか？

症状が突然出現した場合は、迷わず 119 番通報してください。

軽くなったので様子を見てもいいですか？

一時的に改善しても、脳梗塞の前兆（TIA）の可能性があります。必ず早めに受診してください。

発症から時間が経っていても診てもらえますか？

はい。治療できる可能性がありますので、できるだけ早くご相談ください。